

3 自然動態

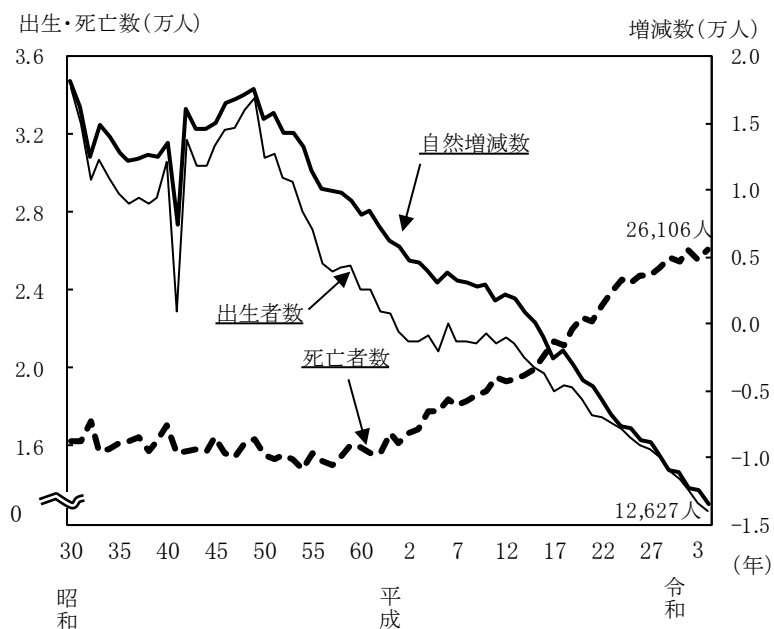
自然増減数 △ 13,479人 前年比 △ 1,054人

令和3年中の自然動態をみると、出生者数が12,627人で、前年に比べ477人減少し、死亡者数は26,106人で、前年に比べ577人増加しています。

昭和30年以降の自然増減数の推移をみると、昭和41年のひのえうまの大きな減少を除き、増減が繰り返されたものの、昭和49年まで増加傾向となっていました。その後急速に減少傾向となっています。

また、平成16年に死亡者数が出生者数を上回る自然減に転じてからは、18年連続で自然減となっています。（図6、5ページ 表2）

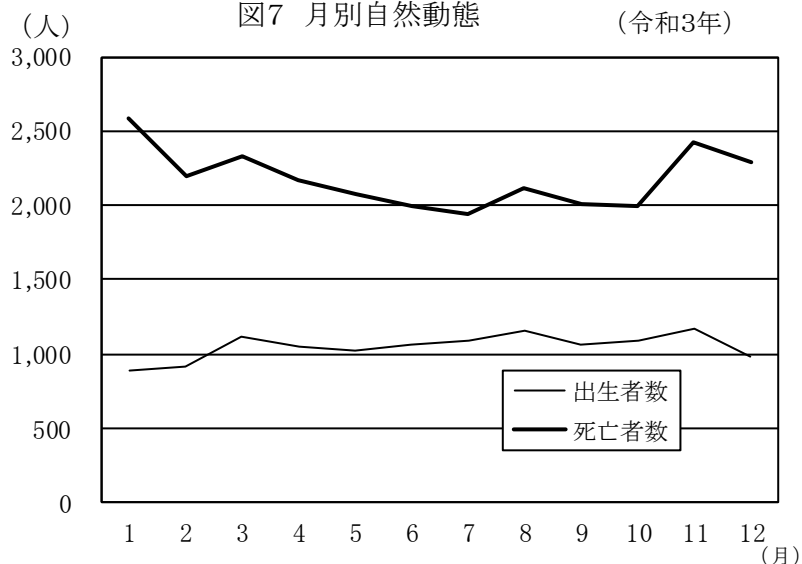
図6 自然動態の推移



出生者数を上回る死亡者数

令和3年の各月の自然動態をみると、各月とも死亡者数が出生者数を上回っています。（図7）

図7 月別自然動態 (令和3年)



全市町村が自然減

自然動態を市町村別にみると、全市町村で自然減少となっています。

自然減少率が最も低い(小さい)のは、南箕輪村の△0.01%となっています。

一方、最も高い(大きい)のは、天龍村の△3.25%で、以下 麻績村△2.45%、栄村△2.37%の順となっています。（6ページ 表3）